



和食ダム 現在の状況

和かっぱ

和食ダム堤体コンクリートの打設状況は、令和5年3月中旬時点において打設再開後の予定量22,000m³のうち約10,300m³が完了しました（進捗率47%）。

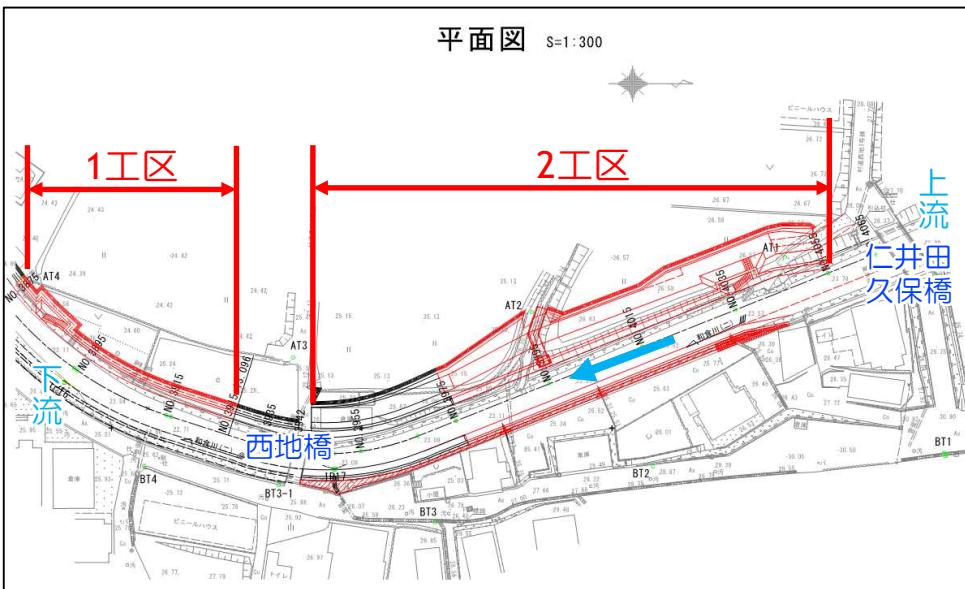
5月には管理棟の建築工事の着工を予定しており、秋頃からは管理設備の工事を行います。管理設備は、ダム管理に不可欠な雨量や河川水位などの情報収集に加え、関係機関への情報伝達などの処理を行うもので、管理棟にコンピュータやサーバー等が設置されます。今後は管理棟及び管理設備工事のために、複数の関連会社が現場へ出入りすることとなります。今まで以上に車両の通行が多くなりますが、安全には十分に留意してまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



ダム関連工事の進捗状況

○和食川河川改修工事（西地橋上下流部）

3月中旬時点において、2工区左岸の護岸工の施工が完了しました。今後は、3月下旬～4月上旬までに2工区右岸の護岸工を完了させるとともに、1工区の護岸工にも着手し、7月下旬の完成を見込んでいます。



○中村橋架替工事

令和5年3月11日（土）に上部工の架設が完了しました。夜間施工、村道通行止めにより周辺にお住まいの方にはご迷惑をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。

今後は、上部工が完成した後に、仮橋の撤去・上下水道管等の移設を行い、中村橋が通行可能となります（R5.7末予定）。引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。



芸西村の史跡紹介【第36弾】

いしすぢょうあと 《石鎚城跡》

石鎚城跡は、^{にしぶんてんまんぐう}西分天満宮南側の小高い丘にあります。石鎚城にはかつて馬ノ上地区にあった「中の城」城主の吉田伊賀介が^{よしだ いがのすけ}住まいしていたと記録されており、小さな祠に城八幡宮が祀られています。小さな砦のような地形をしており、城主の住まいには適した場所であったことがうかがわれます。



出典：芸西村教育委員会 芸西村歴史散歩（平成17年）より